

第46回

ハンセン病医学 夏期大学講座

現地参加と
オンライン
参加形式の
ハイブリッド
開催

ハンセン病に関する最新の知識や
国際協力の現状、将来展望などをお伝えします

2025年8月19日^火・20日^水 **2日間**

※ **参加費無料** / 現地参加者の交通費・宿泊費・昼食代等は自己負担、事前申込者には昼食のお弁当の予約代行可能
1日目2日目両方あるいは、どちらか1日でも参加OK 2日目は3コース同時開催のため1コース選択
回復者との交流会は感染状況等により変更、中止の可能性あり
現地参加者の定員を超えた場合は抽選とし結果はメールにてご案内

会場

国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所ハンセン病研究センター
東京都東村山市青葉町 4-2-1

国立ハンセン病資料館
東京都東村山市青葉町4-1-13

対象

医療系学生ならびに医療関係者など

プログラム

8/19^火 **総合コース**(基礎医学講義) オンライン配信あり・現地定員100名 **会場** 国立ハンセン病資料館映像ホール ※講義と講義の間は5分間の休憩あり

8:40	開 場
9:00	主催者挨拶:厚生労働省 健康・生活衛生局難病対策課
9:05-9:55	らい菌の生物学とハンセン病の免疫応答:阿戸 学(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所ハンセン病研究センター センター長)
10:00-10:50	ハンセン病の臨床:馬場 まゆみ(国立療養所奄美和光園 園長)
10:55-11:45	ハンセン病の歴史:森 修一(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 客員研究員)
11:45-13:00	昼休憩
13:00-13:50	世界のハンセン病(仮):講師調整中
13:55-14:25	海外のハンセン病流行地の取り組み(仮):講師調整中
14:30-15:00	ハンセン病の看護:国立療養所全生園副看護師長 安藤 早苗
15:05-15:35	ハンセン病の介護:国立療養所全生園介護長 岩崎 徹也
15:40-16:10	総合討論(30分予定)
16:10	挨拶:公益財団法人笹川保健財団会長 喜多 悦子

8/20^水 **医学コース・看護福祉コース・国際医療コース 3コース同時開催**

9:00-12:00	① 医学コース (検査・実習)	現地定員 15名 (オンライン 配信なし)	会場 ハンセン病 研究センター	② 看護福祉 コース (看護についての講義と 看護ケアの実演など)	現地定員 30名 (オンライン 配信あり)	会場 ハンセン病 資料館	③ 国際医療 コース (講義とグループ ディスカッション)	現地定員 25名 (オンライン 配信あり)	会場 ハンセン病 資料館
12:00-13:30	昼休憩								
13:30-15:30 (予定)	回復者との交流会 (オリエンテーション・交流会) 現地定員30名 会場 ハンセン病研究センターおよびハンセン病資料館								

申し込み方法

Googleフォームよりお申し込みください。(URL または QR コード)

<https://forms.gle/GRhYGMPUIf4LjEibA>



申込締切

オンライン…8/15 17:00まで
現地参加…8/13 17:00まで

主催：厚生労働省

お問い合わせ：国立ハンセン病資料館内 ハンセン病医学夏期大学講座事務局
042-396-2909 (火～日 9:00-17:00) info@nhdm.jp